

経営比較分析表（令和4年度決算）

山梨県地方独立行政法人山梨県立病院機構 県立北病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療床数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	13,127	非該当	非該当	15:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
188	-	188
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (後継の開設・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成22	年度
-	-	年度

I 地域において担っている役割

山梨県の精神科医療の基幹病院として、精神科救急・急性期医療を担っているとともに、心神喪失者等医療観察法の指定医療機関・指定通院医療機関として診療機能の強化を図っている。今後も精神科救急・急性期医療、児童思春期精神科医療、心神喪失者等医療観察法に基づく医療、重度・慢性入院患者への医療、重症通院患者への医療、依存症患者への医療及び認知症患者への医療を確実に提供していく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は類似病院平均値を上回っており、施設に見合う診療収入が得られていると考えられる。
職員給与費対医療収益比率は類似病院平均値を下回っており、職員配置に見合う診療収入が得られていると考えられる。
入院患者1人1日当たり収益及び外来患者1人1日当たり収益は類似病院平均値を上回っており、収益が適切に確保されていると考えられる。
材料費対医療収益比率は類似病院平均値を上回っており、医薬品や医療材料の価格を抑える取組について検討の余地がある。

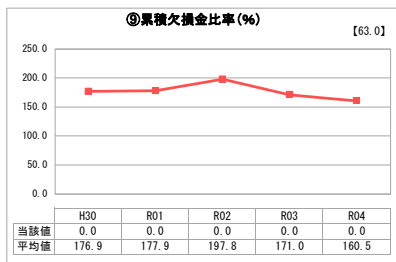
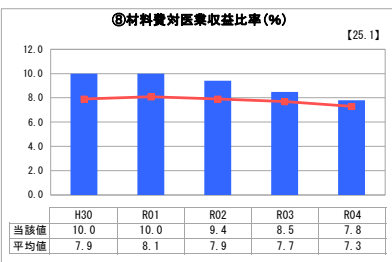
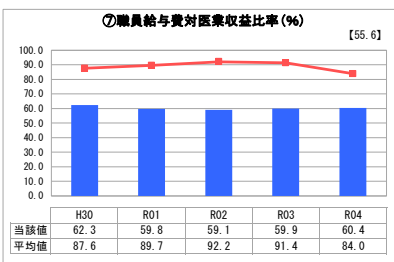
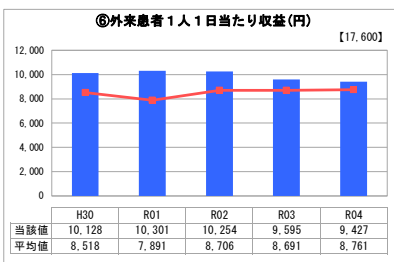
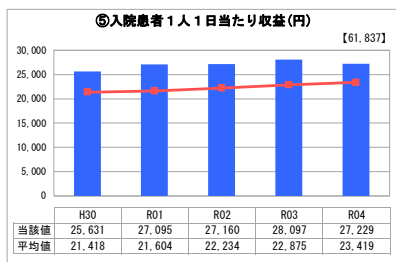
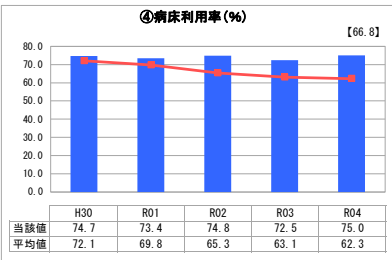
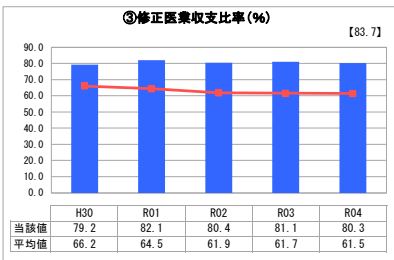
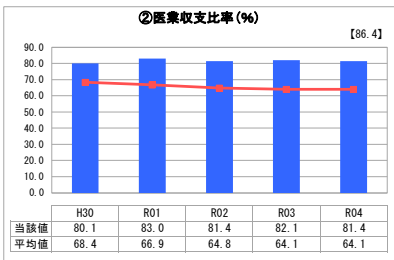
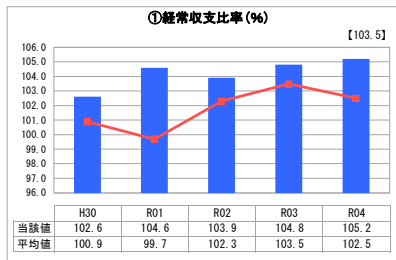
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率どちらも類似病院平均値を上回った。老朽化が際立って進行している状況ではないと考えているが、引き続き計画的な更新等を検討していく必要がある。
1床当たり有形固定資産は類似病院平均値を下回っており、建設投資の規模は病床数に見合うものとなっていると考えられる。

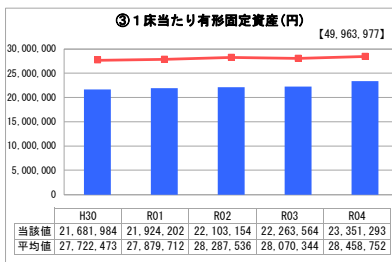
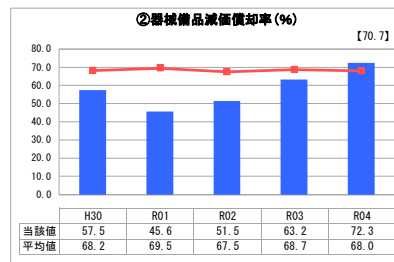
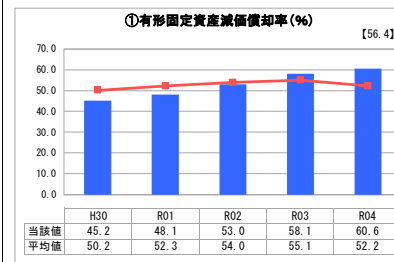
全体総括

経常収支比率、医療収支比率は類似病院平均値を上回っており、医療活動は順調である。
全体として経営の健全性・効率性は保たれている。
老朽化は際立って進行している状況ではないが、引き続き計画的な更新等を検討していく必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。